

ほんの森

図書館 ☎ 84-3311



図書館休館日
9月5日(火) 毎週月曜日

子ども映画会

『泣いた赤おに』ほか2本

日時 9月24日(日)
午前10時・午後2時
上映時間 42分
場所 2階ハイビジョンホール
定員 各回120名
入場 整理券(無料)を9月9日(土)から配布します。ご希望の方は図書館カウンターまでお越しください。

金曜映画会

『新影の軍団2』
(千葉真一主演)

日時 9月22日(金)
午後2時から
場所 2階ハイビジョンホール
定員 先着100名
整理券は不要です



文芸

◆俳句

大滝の飛沫の洗礼滝見台 浅野 茂子
バラ色の一角崩る搔き氷 池田 逸子
電工の太声去りし梅雨の路地 伊藤 敬子
遊歩道緑陰根株腰下ろし 今関満喜子
この西瓜いくつに切るかまよ 魚地 照子
伏す友へ土産に風鈴送りけり 大木 素風
蛸のやみて聞えし水の音 川島 孝夫
手花火を囲んで小さき膝小僧 川島 通則
笛太鼓山車引く街やあすは立秋 桑名 大行
箱根路や杉の並木の木下闇 向後 寛
遠き日の想いでよぎる遠花火 越川 義則
網繕う笑顔の美しき日焼顔 佐瀬 輝夫
気掛かりのひとつ片付き花火の夜 椎名万理子

片陰のときれて道を渡りけり 穴倉 道子
遙くも耳に故郷の祭笛 玉虫 栗扇
緑陰やしばしいこいの平家塚 福田 幸子
立秋のひとりの時を楽しめり 藤代 ゆう
スターマイン筆と広がる利根花火 布施 和代
顔見知り微笑み交はし鰻喰う 村上 淳
夕月の海女の通路月見草 山口 一秋
老いぬれど南瓜の花付け婆々の役 若梅あやめ
大杉の飯高檀林ホトトギス 渡部 和秋

◆短歌

打ち上げし花火に開く吊り袋 追いしは遠き少年の頃 伊藤 定男
夜明け前寢床に届く蛸の哀調おびし声に浸れり 土屋 好
生い茂る万緑の木々靄の中 今日の鋭気を養ふが見ゆ 安田マサ子
湧き上がるワールドカップのサッカー戦も 外国戦はおだしく見入る 吉岡 信子
花咲く木を愛でたる兄は自が植ゑし 木槿花咲く季に逝きたり 池田 春江
公園にブルーシートで暮らしる人の命終思ひつつ過ぐ 田崎 尚美
子ら遊び浜辺の砂の乱るるを 満ち潮寄せて整へゆけり 永藤 滋
なだらかに蛇行し流るる千曲川を 電車は行くも橋音たてて 西山満里子
受付の向日葵の造花ふれし指に 生花にはなき固さを残す 八角 三枝
成東の駅のホームに建つ石碑 左千夫先生この地に生るる 長谷川正子
色褪せし写真の中に気どりのる 少女の吾と半世紀前 芹川 初子
花丸を付けしカレンダーまた仰ぐ 三十年ぶりに友と会へる日 押尾 輝子
浅間様の初山の団扇頂きて 幼の幸をひたに祈れり 平山 芳子
梅雨晴れのけふは茶房に夫とあて 熱きコーヒー飲みつつ語る 佐瀬 初音
細きゆゑよべ取り残したる胡瓜はや 朝の畑に垂りゆたかなる 斉藤つね子